



## 「幸福の贈り物」を届ける運動会に

校長 不破 淳一

以前読んだ本『ブータン、これでいいのだ』（御手洗瑞子著 新潮社）に、ブータン人の青年が著者にこう語る場面があります。（同書p 213より）

「幸せになろうと思ったらね、自分の幸せを願ってはいけないんだ。自分の幸せを探し出したら、どんどん、幸せから遠ざかってしまうよ」

「幸せを願うのであったら、自分の幸せではなく、周囲の人の幸せを願わなくてはいけない。家族だとか、友人だとか、自分の身近な大切な人たち。そして周りの人たちが幸せでいられるように、できるかぎりのことをするんだ。知ってるかい？人のためになにか役に立つことをして、相手が幸せになるのを見ると、自分にもとても大きな満足感が返ってくるんだよ。それは、自分のためになにかしたときより、ずっと大きな満足感なんだ。幸せになりたかったら、まず、周りの人の幸せを願って、そのためになにかすることが大切なんだ。自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからないんだよ。」

ブータンの第4代国王であるジグメ・シンゲ・ワンチュク国王は「GNP（国民総生産）よりもGNH（国民総幸福量）の方が重要である」と発言したことで有名です。今から10年前の2011年の東日本大震災時には、5代国王のジグメ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク国王が来日し被災地を訪れました。国王は福島県相馬市の小学校で次のような話をして子供たちを励まされました。国王の言葉の中に登場する「竜」はブータンの国旗に描かれ、国のシンボルにもなっています。

「私は、竜を見たことがあります。皆さんは、竜を見たことがありますか？」

「私たちは『人格』という名の竜を持っています。竜は私たちみんなの心の中に居て、『経験』を食べて成長します。だから 私たちは日増しに強くなるのです。」

「どうか自分の竜を大きく素晴らしく育てていってください。」

人格という名の「竜」を成長させるためには、人格を育むことに通じる「経験」を確かに積み重ねることが必要になります。その「経験」とは「周りの人たちの幸せを願い、そのために何かをすること」であると言えます。子供たちの人格を育むことに通じる「経験」を学校が意図的に設定することは、子供たちが「本当の幸せ」を得ることに通じるはずですが。

10月は、運動会が予定されています。コロナ禍での制約の中、例年とは異なる形での実施となりますが、子供たちの力を尽くしての演技は、私たちに「幸福な思い」を抱かせてくれる「贈り物」になるでしょう。また、将来の自分に向けての価値ある「特別な贈り物」にもなるでしょう。子供たちが「コロナ禍の困難な状況の中でベストを尽くした自分の力」の尊さに気付くのは、将来において「日常」が戻って来てからになると思われます。子供たちが将来、過去の自分を振り返ってみて、「あの時、コロナ禍での困難な中、運動会で全力で演技をした。それが今の自分につながっている。今の自分を造っている。」そう思えるようになることを願わずにはられません。子供たちの精一杯の演技は、他者（周りの人）の幸福と、自分自身（将来の自分）の幸福を育むことにつながっているのです。

今年の運動会を、子供たちが人格を育み「本当の幸せ」を得ることに通じる、価値ある体験の場にしていきたいと強く思っています。

### 10月の生活目標

- 仲良く元気に運動しよう
- 校庭で友達と元気よく遊ぼう

### 10月の学校安全指導内容

安全な授業の受け方を知る  
(理科・体育・図工・家庭科)

月	火	水	木	金	土	日
				10/1 鈴木 SC 安全指導 委員会(前期終)	2	3
4 鈴木 SC 委員会(後期始)	5	6 C時程 4時間授業	7 西田 SC	8 鈴木 SC B時程	9	10
11 鈴木 SC	12	13	14 西田 SC	15 鈴木 SC	16 C時程 運動会 午前授業	17 運動会予備 ①
18 振替休日 開校記念日	19 5時間授業 運動会予備②	20 4年歯科講 話下校指導 (5H終了後)	21 西田 SC	22 鈴木 SC 避難訓練	23	24
25 鈴木 SC	26 2年生活科見学 (小金井公園)	27 4時間授業 就学時健診 みんな遊び	28 西田 SC みんな遊び 放課後学習 (1,2年)	29 鈴木 SC みんな遊び予備	30	31

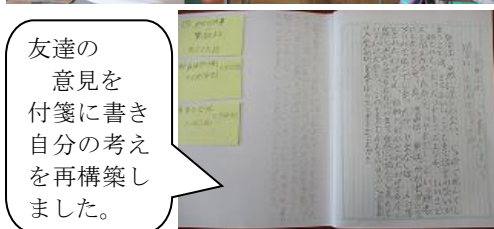
### <御礼>

保護者の皆様の御協力のおかげで、校内では感染拡大による混乱が一切なく、2学期のスタートをきることができました。安心・安全な学校づくりのため、引き続きお子様の健康観察などの御協力をどうぞ宜しくお願いいたします。



### <体罰ゼロ宣言>

本校では、体罰の根絶に向けて、「プロとして 心に響く言葉で指導」をスローガンに、体罰ゼロ宣言を推進しております。教師自身が、日々研鑽し、子供たちが安心して学べる居心地のよい温かな学校を築いてゆきます。



友達の意見を付箋に書き自分の考えを再構築しました。

### <選べる休み時間の様子>

緊急事態宣言下では、休み時間の過ごし方を選択制にしていました。外で遊ぶ児童と、教室の机上で静かに過ごす児童に分かれ、密を避けて過ごしていました。



### <9月21日校内研究>

本校は昨年度までの3年間は、プログラミング教育の研究を行いました。今年度からは「主体的・対話的で深い学びを実現する国語科学習の創造～物語文を中心として～」をテーマとした研究に取り組んでいます。先日は、6年生の国語『やまなし』宮沢賢治の研究授業が行われました。「宮沢賢治を表す漢字一字を考えよう」「なぜ、やまなしという題名にしたのか考えよう」などの学習課題に対して、根拠を明確にした自分なりの考えをもち、ノートに書きました。グループの友達とノートを交換してじっくり読み合うことで、友達の考えを参考にして、自分の考えを再構築しました。友達との交流から学びを深め、主体的に考え、まとめることができました。